



エピソード記録

・散歩先で木の実拾いをしていました。

ぱんだ組 Aちゃん『先生これ何?』

村田 『何だろう、どんぐりじゃなさそうだね』

ぱんだ組 Bちゃん『何かブルーベリーみたい。ブルーベリーちゃう?』

あ!こっちにもどんぐりあるー!! (と言ってどんぐり拾いをする)』

きりん組 Cちゃん『えー…ブルーベリーじゃないと思う。だってこんなに小さくないもん』

(気になって、持ってきていた図鑑を見始めたCちゃん)

『あ!これ、やまぶどうっていうみたい!』

村田 『ほんとやー! 図鑑の写真とそっくりだね』

散歩先で気になるものがあった時、図鑑を見て調べ、事実を探求しようとする5歳児と、興味があるものに目がいく4歳児との差がよく表れているエピソードです。どちらがいいという事ではありません。年齢に応じて興味の対象に違いがあるので、自然な姿です。こういった遊びの興味から、学習への関心につながっていきます。小学校の前段階だからといって、学習をさせるのではなく、今子どもがしたいこと・興味のあることを伸ばすことが、何よりの近道だと感じています。

木の葉が赤や黄色に染まり、冷たい北風が吹くようになりました。もうすっかり晩秋。冬がすぐそこまできています。



11月の様子



11月は大きな行事もなく、ゆったりと過ごせました。クッキングに関する取り組みが多かったですが、どれも意欲的・自主的に取り組めていました。特にそば打ちは、初めて目にする道具や工程が多く、とてもいきいきとしたみんなの表情が印象的でした。

今、少しずつ生活発表会への取り組みを初めています。といっても、練習をしている訳ではありません。保育の専門用語で“導入”というのですが(一般的な導入とは違う意味合いで使います)行事に取り組む前に興味を引き出したり、意欲につながるよう働きかけることを言います。導入だけで、行事がただこなすものになってしまうか、達成感や自己有能感の味わえるよいものになるかが決まってきます。結果よりプロセスを大切にしたいと考え、今はたくさんの絵本に触れ、劇候補となる物語にたくさん出会ってもらっています。その中で、こんな物語の劇がしてみたいという声があがったり、こんな風にしたらどうだろうという、演出のアイデアが生まれたりしています。子ども主体で進められるよう、導入に力を入れ、園生活最後の大きな発表行事を迎えたいと思います。



就学前健診お疲れさまでした!!

小学校を身近に感じる一歩となったでしょうか? 最近では、ランドセルの話題や、同じ小学校の子を意識した会話などが聞かれ、小学校への期待が伝わってきます。その一方で、もちろん不安もあると思います。もしお子さんの様子で気になることがありましたら、小さなことでもお話し下さい。敏感になりやすい時期ですので、私たちも子どもの様子をよく見て、接していきたいと思えます。

12月の予定

※忘れ物等がないように、ご確認ください!!

- ・12月22日(火) お誕生会
- ・12月24日(木) クリスマス会
- ・12月25日(金) もちつき大会
- ・12月29日(火) ~1月4日(月) 冬休み

